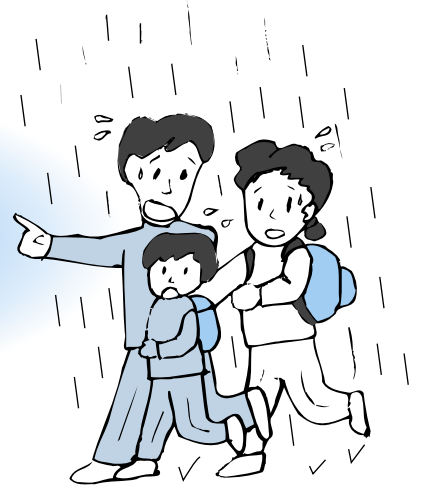


# 市民の皆さん 梅雨の季節です

## ～大雨・長雨にご注意～



水害は大雨や長時間の降雨などにより突然起こる自然災害です。

大雨や長雨により発生が予想される災害の種類は、増水による浸水、河川の決壊や崖くずれ、谷川における土砂災害です。

気象庁では、梅雨の季節到来前である5月28日から、大雨および洪水警報・注意報の基準を改善し、気象災害時の避難勧告等により有効に活用できる新たな指標を導入しています。

日常から気象情報などに気をつけ、防災情報を正しく理解され「自分の命は、自分で守る」早めの避難を心がけましょう。

### 大雨および洪水警報・注意報の基準を改善 | 気象庁

▼大雨警報・注意報に新たな指標「土壌雨量指数」

大雨警報・注意報については、従来の地上に降る雨の量で算出した指標である24時間雨量に代えて、土壌中に溜まっている雨の量に基づき、降雨による土砂災害発生危険性を示す指標である土壌雨量指数を導入し、避難準備などへの活用を目指した防災情報として発表されます。

大雨および洪水警報・注意報の改善

	改善前			改善後			改善後			改善後		
	注意報			警報			注意報			警報		
	雨量基準(ミリ)			雨量基準(ミリ)			雨量基準(ミリ)			雨量基準(ミリ)		
	1時間雨量	3時間雨量	24時間雨量	1時間雨量	3時間雨量	24時間雨量	1時間雨量	3時間雨量	24時間雨量	1時間雨量	3時間雨量	24時間雨量
大雨警報・注意報	30	50	100	50	80	200	30	50	120	144	155	181
洪水警報・注意報	30	50	100	50	80	200	30	50	50	-	-	80

▼洪水警報・注意報に新たな指標「流域雨量指数」

洪水警報・注意報については、従来の対象区域に降る雨の量で算出した指標である24時間雨量に代えて、流域の雨の量に基づく指標である流域雨量指数を導入することにより、水害発生の危険性がより確度の高い情報として発表されます。

なお、この指数の設定河川は概ね15キロメートル以上の流路河川が対象で、勝浦川などの洪水予報河川は除かれます。

### まず、情報収集(予報と警報)

徳島地方気象台から発表される気象注意報・警報等は、地域住民に避難準備などの注意を呼びかけ、災害時の被害を最小限にすることを目的に発表されています。市民の皆さんは日ごろから気象情報に関心を持たれるようにしましょう。

下表は、1時間あたりの「雨の強さと降り方」の目安です。なお、小松島市の注意報・警報発表区域は、「徳島・鳴門地区」として発表されます。

### 日頃の備え

▼非常食や必需品(携帯ラジオ・懐中電灯・救急医療品・水・食料など)を準備しておきましょう。  
▼避難場所・経路を確認しておきましょう。

▼近所の人への気配り(一人暮らしのお年寄りなど)を心がけましょう。

### 大雨・洪水対策

河川流域や過去に河川敷であった場所、または過去に浸水被害のあった場所などは、大雨や大雨により洪水に見舞われる危険性が十分にありまます。大雨お

雨の強さと降り方

1時間雨量(ミリ)	10～20未満	20～30未満	30～50未満	50～80未満	80以上
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る。	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る。	滝のように降る。(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる。	傘をさしていてもぬれる。		傘は全く役に立たなくなる。	
屋内(木造住宅を想定)	雨の音で話し声が良く聞き取れない。	寝ている人の半数くらいが雨に気付く。			
屋外の様子	地面一面に水たまりが出来る。		道路が川のようになる。	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。	
車に乗っていて		ワイパーを早くしても見づらい。	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる。	車の運転は危険である。	
災害発生状況	この程度の雨でも長く続く時は注意が必要である。	側溝や下水、小さな川が溢れ、小規模の崖崩れが始まる。	山崩れ・崖崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。下水管から雨水があふれる。	マンホールから水が噴き出す。土石流が起り易い。多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要である。

気象庁資料